

あの街から学ぶ しおじりの明日

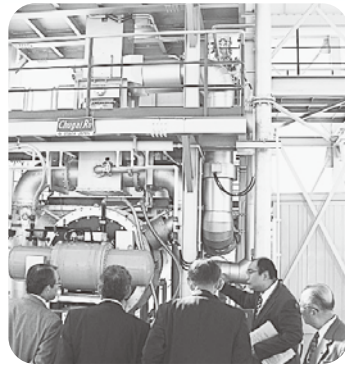
平成21年度常任委員会・市街地活性化特別委員会 視察報告

平成21年度では、総務環境・福祉教育・経済建設の3つの常任委員会と市街地活性化特別委員会が、次のとおり各地の先進事例の視察をおこないました。

総務環境委員会

平成21年11月4日～6日

あいち臨空新エネルギー実証研究エリア



◆あいち臨空新エネルギー実証研究エリア（愛知県常滑市）

愛知県が運営する県民の新エネルギーに対する理解向上を図るための施設。太陽光・バイオマス・燃料電池の3つの実証研究施設と太陽光発電システムとNAS電池という蓄電池の2つの供用設備があり、発電された電力は実証研究施設内の施設や浄化センターに供給されています。企業の研究機関だけでなく、小中学生や一般市民向けに学べる施設として重要と感じました。

◆廃食用油燃料化施設

（京都市伏見区）

廃食用油を軽油の代替燃料（バイオディーゼル）に再生



京都市廃食用油燃料化施設で説明を受ける

する施設。家庭系廃食用油は市内約1千400箇所の回収拠点で回収（平成21年度は18万ℓ）し、事業系廃食用油は業者から購入（146万ℓ）している。生産したバイオディーゼル燃料約160万ℓは、ゴミ収集車や市バスに使用しており、施策研究の参考になりました。

◆防災センター・電話等による市税催告業務

（奈良市）

防災センターは災害の疑似体験をすることにより、実際の災害時にどう対処すべきか学ぶ施設を見学し、必要性等を検証しました。

電話等による市税催告業務は、市県民税等の20万円未満の小額滞納者に対して自主納付の呼びかけ等を行う業務を民間委託したものです。民間委託の問題点や課題、事業の効果についてこれまでの実績を視察しました。

福祉教育委員会

平成21年11月9日～11日



子育て支援センター「ゆめっこ」の木の遊具

◆小中一貫教育「とどろみの森学園」

（大阪府箕面市）

施設一体型の小中一貫校についての経緯と取り組みについて説明を受けました。山間部の過疎地区にバイパスが開通。人口増加に伴い新たな小中学校が必要となり、小中一貫教育のパイロット校として平成20年に開校し、9年間を4年、3年、2年の3期制をとっているとのことでした。

◆子育て総合支援センター「カンガルーの森」

（大阪府高槻市）

保健所跡地に整備された3階建ての子育て支援センターを視察しました。大学やボランティア等と連携をとり、子育てに関する支援、研修、交



生涯学習センターで「けやきの森市民大学」の説明を受ける

流や相談などができる施設で、情報発信も充実していました。

◆生涯学習センター「けやきの森市民大学」

（大阪府高槻市）

豊かな人生を創造する生涯学習社会の実現を目指し、平成16年に設立。関西大学、京都大学等や研究機関等と連携し、高度かつ多様な学習ニーズに対応しているとの説明を受けました。また、ちようど開催されていた講座も聴講しました。

◆子育て総合支援センター「ゆめっこ」

（滋賀県大津市）

空きビルを大津市が市施設の整備で再生した。その中心的施設である「ゆめっこ」を視察しました。木材を多用した施設で、木のぬくもりを感じるよう裸足での利用となっていて、市内外から多くの親子が訪れていました。